



11  
けつようび

## かみさまに もちいられた レムナント



かみさま べつどう  
神様は偶像でいっぱいになっている現場に、オバデヤの  
よゆう びと おく  
ような働き人を送ることを願っておられます。  
つき せいく か  
次の聖句をなぞって書いて、私たちも弟子を見つける  
はたら けつだん  
働きをすると決断しましょう。

れつおう  
1列王  
しやう せつ  
18章 15節

するとエリヤは言った。「私が仕えている万軍の主は生きておられます。  
かなら わたし  
必ず私は、きょう、彼の前に出ましょう。」

わたし  
私たちは、ただ福音を握って、霊的な力を回復するだけで良いのです。聖書を見  
ると、オバデヤは偶像時代、教権時代に、霊的な力を回復した人でした。そのオバ  
デヤは、アハブ王の臣下でありながら、エリヤの弟子でした。預言者100人を隠し  
て生かす役割も果たしました。神様はオバデヤを、暗やみを打ちこわす現場へ、ま  
た、バアルとアシェラの預言者を倒す現場へと導かれました。それだけではなく、  
エリヤと預言者たちを保護する答えもいただきました。ついに、七千人の弟子を見つ  
けてドタンの町運動を通してアラムの国と戦うことなく勝利することができるよう  
に準備する主役になりました。

私たちレムナントも、神様が必要とされることに用いられるための準備をしまし  
よう。福音を知らず、自分でも気づかないうちに死んでいく人々に福音を伝えて生か  
す役を引き受けましょう。もうこれ以上、絶対に揺れないで、契約を握りましょう。  
そして、とても身近な家庭、学校の現場から生かす、神様が用いてくださるレムナ  
ントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

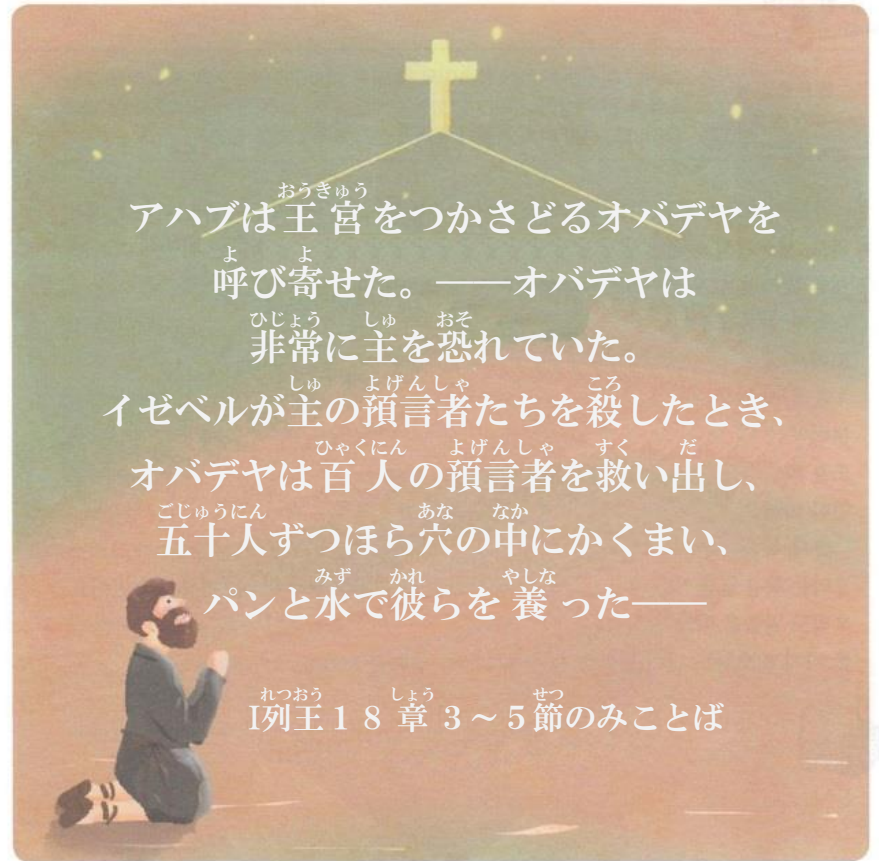
かみさま ふくいんぶんか なか  
神様、福音文化の中で、神の子どもとしてくださって、ありがとうございます  
す。オバデヤのように、神様に用いられて、多くの人を生かすように導い  
てください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りしま  
す。アーメン



きょうのでんどう

あ ひと  
会う人

じゆんび しりよう  
準備する資料





# 12 こじんの こたえを もとう

## 1 ペテロ 2章 9節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

私を基準にして、すべてを考えて判断すれば、かならず限界にぶつかって、いろいろな問題が起きます。世の中で成功した人々であっても、このことから抜け出すことはできません。それなら、どのようにすれば、このような限界から抜け出せるのでしょうか。私たちが先に答えを受けるなら、答えを与えることができます。

1つ目、福音を理解して、福音であるイエス・キリストが、毎日、私の主人になってくださいと祈りましょう。

2つ目、福音の中から出る神様の力を知って伝えましょう。神様は全知全能\*の方です。私の中に聖霊として来てくださり、主人となってくださって、いつもともにおられます。このような聖霊の導きについて行けば、使徒1章8節のみことばのとおり、神様の力を体験して伝達する証人になります。

3つ目、福音が完全だという事実を知って伝えましょう。新約聖書の使徒の働きには、イエスがキリストという福音を発見した人々は、どんな状況と問題の中でも勝利したことが記録されています。私たちも、みことばに従うなら、この時代に記録される使徒の働きの主人公になるでしょう。このような答えを持って、今日も答えが必要な人に答えを伝えるレムナントになりましょう。

\*全知全能：すべてのことをすべて知っていて、できないことはないこと

### ようのみことば



### ようのいのり

神様、使徒の働きの主人公として呼んでくださって、ありがとうございます。いまま生きて働くみことばの成就を、毎日、体験することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを  
てきよう  
しよう

私の本来の姿である「神の子ども」という文字を見つけて、しるしをつけよう。



出	の	世	聖	力
い	キ	界	霊	伝
福	リ	子	ど	宣
音	味	生	満	も
神	化	使	た	教



### ようのでんどう

あ、ひと  
会う人

じゅんび  
しりょう  
準備する資料





13

すいようび

# きょうかいの こたえを もとう

使徒  
2章 1節

五旬節の日になって、みなが一か所に集まっていた。

サタンは、いまでも神様から離れさせるために、落とし穴を掘っておいて、人々が自分の枠に捕らえられて、考えのなかに縛られて生きるようにだましています。大胆にもイエスを試みた（マタイ 4:1~11）サタンは、いまでも私たちをだまそうとしています。私たちは、教会という祝福で、このようなサタンの陣営を打ち破らなければなりません。

まず、すべての信徒が教会を中心にして礼拝を回復しなければなりません。これは、私たちが礼拝で神様のみことばを聞きながら、神様のみこころを求めるときから始まります。そうすれば、みことばで現場に準備された神様の計画を発見するようになります。このように、みことばを持って現場に行き、イエス・キリストを宣言すれば、神様を離れた人、病気の人、悪霊につかれた人がいやされます。そのとき、エルサレムから全世界を掌握したように、教会を通して世界福音化の門が開くようになります。今日から教会でささげる礼拝を回復できるように祈りましょう。いやされる答えが与えられ、世界福音化を発見できる祝福が、私たちの教会に起きるようにです。教会の答えを持った私たちを通して現場が活かされるでしょう。



ようのみことば



やうのいのり

神様、教会をたててください、ありがとうございます。私と教会を通して、私たちが行くすべての現場が活かされて、世界福音化を発見できますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを  
てきよう  
しよう

私を通して、教会が強くなつたてられるように、私にできることをみつけよう。

- 教会でささげるすべての礼拝に出る
- 礼拝のあと、次の礼拝のために整理して、そうじする
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 



やうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
しりよう  
準備する資料

---



---



---

## げんばの こたえを もとう

### マタイ 28章 16~20節

シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」するとイエスは、彼に答えて言われた。「バルヨナ・シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」そのとき、イエスは、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められた。

イエス・キリストによって救われて神の子どもになった私たちに、神様は、世界福音化というミッションをくださいました。神様は、このミッションを遂行するために、私たちが学校という現場に送られました。ヨセフを奴隷、監獄という現場に送られ、ダビデを羊飼いで野原に送られたのと同じです。いまは、神様の計画のすべてを理解することはできなくても、時間が過ぎれば「神様があらかじめご存知で導かれたのだなあ！ 本当に感謝だな」とわかるでしょう。

神様は、それぞれの人にふさわしいタラントをくださって、最高の座に達するようにしてくださいませ。これが世界福音化のための土台です。ですから、今日の勉強が重要です。私たちは、日々変わる時期にいます。私のまわりには、福音を知らないために揺れている友だちがいるでしょう。このような友だちを生かさなければなりません。いま神様のみことばでいやされれば、神の国のために大きく用いてくださるようになります。今日、わたしたちの学校が、神様が願っておられる学校ミッションホームになるように祈りましょう。そして、救いの道を伝えて、すべてのわざわいに勝って防ぐことのできる答えの中に入りましょう。

### きょうのみことば

### きょうのいのり

神様、学校という現場をくださってありがとうございます。今日一日、救いの道を伝えて、わざわいを防ぐ弟子を見つける学校ミッションホームを味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かくれて  
いる えを  
みつけよう

学校が、友だちと礼拝をささげることのできる、学校ミッションホームになれば、どんなに素晴らしいでしょうか。神様にそうなるようにという祈りをささげながら、下の絵に隠れている絵を7つ見つけましょう。



十字架、三角定規、えんぴつ、めがね、聖書  
けしごむ、リコーダー

### きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
しりょう  
準備する資料





# 15 いまも はたらく かみさまの みことば

## ヨハネ 1章1節

はじめに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

自動車、飛行機、旅客船などに乗っているときは、自分の位置をいつも確認しながら、目的地に向かわなくてははいけません。それでこそ、正しい道を進むことができます。このように、私たちがどこにいて、どこに向かっているのか、つまり私の位置と方向を知ること、非常に重要なことです。

神様のみことばは、私がだれなのか、私はどこにいるのか、私はどこへ行かなければならないかを見つける唯一の方法です。聖書には、神様のみことばによって天地が創造され（創世記1:2）、みことばである神様は、人となって、キリストとして来られ、神様を離れたすべての人を救うことを願っておられる（ヨハネ 1:14）と記されています。またこのような神様のみことばは、生きて力があり、みことばが入ったすべての人、家庭、国を生かすとあかしされています。（ヘブル 4:12）神様のみことばは、今も仕事をしています。これを「働く」と言うのです。みことばが宣べ伝えられる所で、いのちが生かされ、神様のミッションが伝えられて、家庭と家系がいやされていきます。みことばが働く礼拝と伝道の場をのがさないようにしましょう。神様は私を、みことばの証人になるようにして下さるからです。

### きょうのみことば

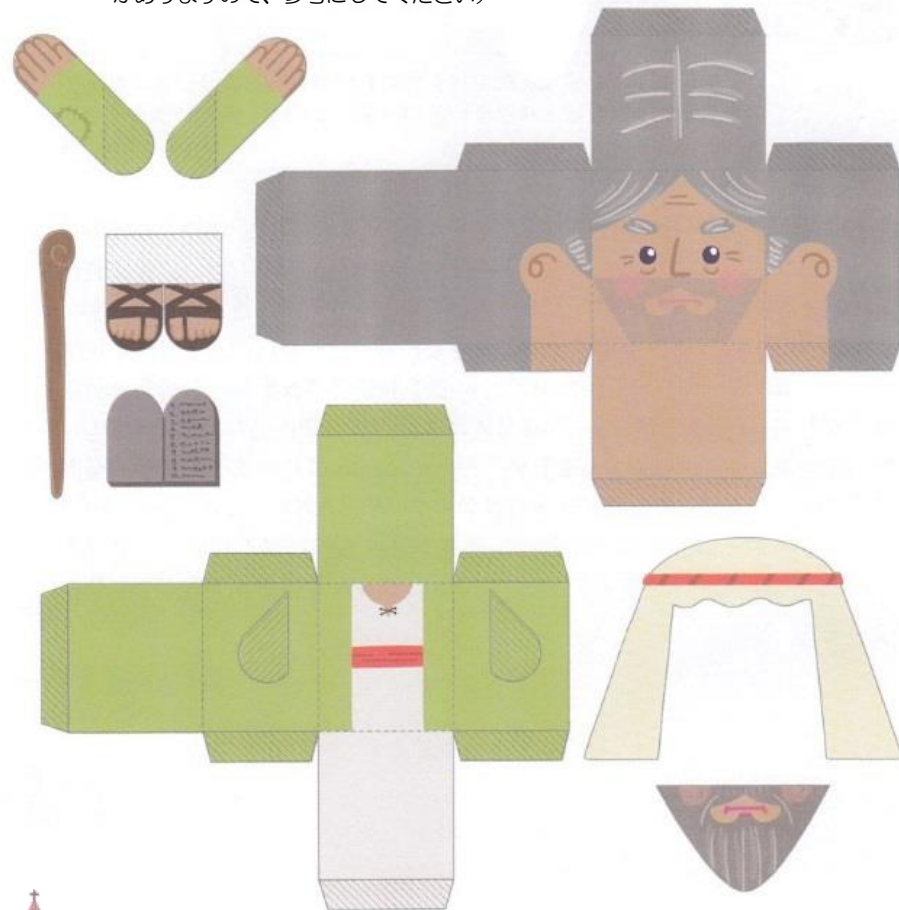
Blank lines for writing the Sunday message.

### きょうのいのり

神様、いまも働いておられる神様のみことばの中にあるようにして下さって、ありがとうございます。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈ります。アーメン



神様のみことばを信じて伝えたモーセが記録したモーセ五書は、いまも成就しています。生きているみことばを宣べ伝えたモーセを用いられた神様のことを考えながら、モーセ人形を作りましょう。（作り方は、5月号のヨセフ人形と同じです。次のページにヨセフ人形の作り方がありますので、参考にしてください）



### きょうのでんどう

Grid area for writing the Sunday devotion.

### 会う人

### 準備する資料

Blank lines for listing preparation materials.

## かみさまの みことばにとらえられた レムナント

ヨシュア  
1章 8節

この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。

私は今、なにを考えていますか。心配や悩みでしょうか。そうではなく、神様に向けた感謝や賛美でしょうか。今、私の考えていることが、私を現わします。

神様は力なく弱いイスラエルを通して、すべての民族に神様が生きておられる証拠を示されました。しかし、イスラエルの民は、サタンにだまされて、神様のみことばをなくして、みことばの流れでない、律法と偶像を主人とした流れの中に入りました。

それなら、今、私はどうすれば、みことばに捕えられて、みことばの流れに乗ることができるのでしょうか。エジプトの偶像の流れに勝ったレムナントのモーセは、偶像の流れを福音の流れに変える犠牲のいけいえ、つまり、イエスがキリストであるという契約のみことばを握って証人となりました。モーセのように、福音のみことばの中に入りましょう。そうすれば、現場と家庭、家系の流れが変わって、奴隷になってしまった現場を変化させて証人になるようにしてください。

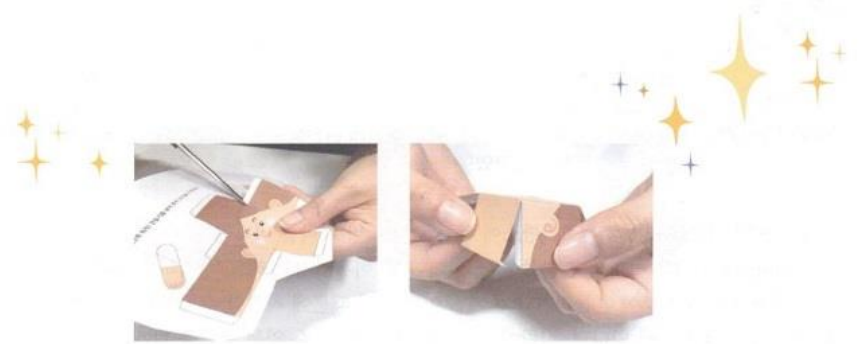
### きょうのみことば

### きょうのいのり

神様、モーセのように、福音のみことばの流れに乗って、現場の流れを変えることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



前のページのモーゼ人形の作り方です。画像は先月のヨセフ人形のもので、同じように作れます。

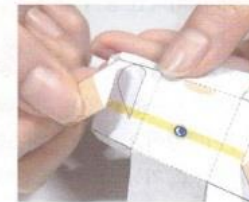


01 かたちを切り抜きます

02 点線と実線をおります



03 斜線のはいている部分にのりをつけてはりあわせます



04 頭、体、腕、足を正しい位置にはたらきあがり！



### きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
しりょう  
準備する資料

Grid area for notes.

Blank lines for preparation materials.